

シゲルくん通信

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレーションが
毎月発行する瓦版です

NEO



こんにちは! 増村文武です。さて、去る5月16日に開催されました弊社株主総会・取締役会におきまして、前社長の高橋英樹より代表取締役社長の任を正式に譲り受けました。

また、6月1日より創業以来長年お客様に愛されてまいりました社名『茂興業株式会社』のイメージを引き継ぎながら、新社名『株式会社シゲル・コーポレーション』に変更致します。

弊社が旗印として掲げる『建物超寿命化支援企業』宣言のもとで、お客様への品質・サービス業界No.1、社員幸福度業界No.1を目標に、これからも邁進してまいります。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

発行から10年目に突入し今回で第109号を迎えた『シゲルくん通信』も、本号より名称を『シゲルくん通信NEO』にバージョン・アップし、より一層楽しく有益な情報発信をさせていただきます!



▲文・絵：ことだま千絵子

お知らせ

※シゲルくんのつばやきは
ホームページのブログへ引っ越しました!

今月の トピックス

- ① 新役員紹介
- ② 社名変更について

新役員紹介

新役員体制となりました。

写真 右から

代表取締役 会長	高橋英樹
代表取締役 社長	増村文武
常務取締役	高橋 剛



社名変更について

拝啓 時下ますますご発展のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご高配をいただき厚くお礼申し上げます。さて、弊社創業以来「茂興業株式会社」の名称で皆様方からご愛顧いただいておりますが、6月1日から社名を「株式会社シゲル・コーポレーション」に変更させていただきます。今後もより一層皆様のお役に立てるよう努力する所存でございますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

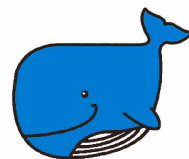
敬具

株式会社
シゲル・コーポレーション

ULTRA ANTIAGING RENOVATION WORK

建物超寿命化支援企業

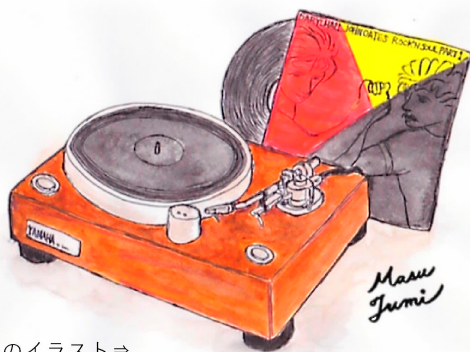
SHIGERU



CORPORATION

荻昌弘さんを愛してやまない俺ちゃんのシネマコラム

連載第49回 今月のテーマ『映画と見事にコラボするクラシック音楽』



★今月のイラスト⇒
『洋楽に目覚めた中学生時代に聞き倒したホール&オーツ』

自称、茂興業内で一番の映画好き、増村文武です。

本シネマ連載もいよいよ第49回目、来月は遂に50回目を迎えます！日頃のご愛読に改めまして感謝を申し上げます😊

さて、専用に作られたテーマ音楽が実に素晴らしい作品が多数存在する一方で、クラシックの定番名曲とのコラボがまた絶妙すぎて忘れることのできない作品も数多く存在しております🌟

ということで今月のテーマは『映画と見事にコラボするクラシック音楽』です🎧🎵

悩みに悩んでの選りすぐり3本を御紹介いたします📺



★毎月掲載している挿絵はこちらからもどうぞ。

① 『地獄の黙示録 (1979年 アメリカ映画)』

🎧 ワーグナー 『ワルキューレの騎行』

ベトナム戦争後期の1969年 過去にCIAの秘密作戦に従事してきたアメリカ陸軍将校のウィラード大尉は、ベトナム戦争に乗じてカンボジアのジャングル奥地に謎の独立王国を築いたと噂される、元グリーンベレーのカーツ大佐暗殺指令を受けます ウィラードは海軍の同行員とともに大河を遡上し目的地を目指しますが、その途中で彼が目撃したものは、狂気に満ちた米軍による軍事作戦と惨状でした...👁️👁️ヘリによるベトナム村落への襲撃作戦にて、オープンリールデッキにより大音響で流されるのが『ワルキューレの騎行』 この場面で気持ちが昂る我々鑑賞者自身の心の奥底にも、人の心の異常さに対する警告を発しているようで、複雑な嫌悪感を抱かずにはいられません... 戦争が人の心を完全破壊し見事に狂わせていく怖さと愚かさを存分に描いた本作、『フルメタル・ジャケット』、『ディア・ハンター』と並び、私の中で強烈に忘れられない戦争狂気映画の1本📺 第52回アカデミー賞撮影賞と音響賞を受賞も納得です🎧 カーツ役のマーロン・ブランドの圧倒的な威圧感も怖すぎだよな👁️👁️

② 『2001年宇宙の旅 (1968年 イギリス・アメリカ合作映画)』

🎧 リヒャルト・シュトラウス 交響詩『ツァラトゥストラはかく語りき』 導入部

🎧 ヨハン・シュトラウス2世 円舞曲『美しく青きドナウ』

目を見張る美しい映像とクラシックの完璧なる融合という観点において、未だに本作は最高峰の一本ではないでしょうか🌟 400万年前、我々人類の祖先であるヒトザルが、ある時突然に彼らの前に出現した謎の石板に触れたことにより、その後ヒトザルは道具を使うことを覚え、やがて宇宙旅行ができるほどの科学文明を持つ人類へと進化します🌌 月に再び謎の石板を発見した人類ですが、石板はその瞬間に木星に向けて強力な信号を発します 謎を解くために木星に向けての旅に出発した主人公ポーマン船長率いるディスカバリー号ですが、やがて本船に搭載されたAIコンピュータのHALが暴走を起こし... 久しぶりに本作をデジタルリマスター版で観てみました🎧 難解ではありますが改めてエポックメイキングな凄い作品 本本当に54年前の作品なの!?と目を疑うこと必至な、精緻で科学的考証に満ちたリアリティとクオリティ👁️ オープニングシーンで流れる『ツァラトゥストラはかく語りき』そしてシャトルと宇宙ステーションとのドッキングシーンで流れる『美しく青きドナウ』など、まるでこの映画のために用意された専用のテーマ曲のようです🎧

③ 『時計じかけのオレンジ (1971年 イギリス・アメリカ合作映画)』

🎧 ベートーベン 『交響曲第9番ニ短調』

近未来のロンドン ベートーヴェンを愛する主人公アレックスが率いる不良少年グループ『ドルーグ』は、特異な衣装に身を包み、夜な夜な稚拙で不条理な不法行為(暴力、ドラッグ、強盗など)にあけていました👁️👁️ ある夜も一人暮らしの裕福な老婦人が住む一軒家への強盗を強行 侵入後に老婦人を殺害してしまったアレックスは、仲間に裏切られた末に駆け付けた警察に逮捕されてしまいます👁️ 懲役14年の実刑判決を下された彼は収監され、2年あまりが経過 模範囚を装っていたアレックスは囚人を改心させる『ルドヴィコ療法』とよばれる被験者になることを条件に刑期短縮の機会を得ますが、実は恐るべきこの療法のせいで、大好きなベートーベンの第九を聴くと吐き気に襲われ卒倒してしまうほどの拒否反応が脳に植え付けられてしまいます... 本作は②『2001年宇宙の旅』とともに奇オススタンリー・キューブリック監督作品🎧 こちらも実に51年前の作品なわけですが、2022年現在の今観返してもけっして色褪せようもないオンリーワンな問題作👁️ 賛否両論激しい本作ですが、模倣しようがないタブーな表現への挑戦は、時を経ても変わらない高いステータスを逆に本作に与え続けています 二度と観たくないがまた観てしまう一本📺

もし御興味がありましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^_-)-☆

